

# 教育ながの

ー長野県教育委員会メールマガジンー

第 609 号

平成 25 年 8 月 20 日



しあわせ信州

## 1. ひろば

少子・人口減少社会に対応した新たな学校づくり

長野県教育委員会義務教育課長 柳澤 厚志

## 2. 特集

「信州教育の信頼回復に向けた行動計画」について

教育総務課

## 3. 今、学校では

木曾馬とのかかわりを活かした学習

木曾養護学校

## 4. 現場レポート

市町村教育委員会のお仕事探訪

↳朝日村教育委員会にうかがいました

教育総務課

## 5. イベント情報・お知らせ

## 6. あそびがき

## 義

義務教育課では、本年度、少子・人口減少社会に対応した新たな学校づくり検討会議を立ち上げ、議論を進めています。これは、長野県の子どもの人口が20年後には、現在の3分の2になると見込まれるなど、急速な過疎化、少子化の進行による過去には前例のない児童生徒数の減少、学校の小規模化などが予測される中で、過疎・中山間地域等において、教育の活性化、運動会等の学校行事や部活動の活性化、児童生徒の人間関係の広がり、学力向上、不登校、特別な支援を要する児童生徒等の教育課題への対応が求められてきているためです。

## 会

議の中では、「子どもにとって選択肢をできるだけ広くしたり学習の機会を保障したりするためには、ある程度の規模の集団が必要」「自分とは異なる友達の考えと出会い、意見交換を通して学びを深めるなど、人と関わり合う授業が必要」など、子どもたちの社会性や人間関係能力等を育む面から、また、「限られた財源の中でどのような選択ができるか」「近隣の教育委員会

## 将

来を担う子供たちに、より良い教育環境を提供するために私たちが取り組まなくてはならないことは何か。人口減少社会を強みに転換すること、知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間や、信州に根ざし世界に通じる人材を育成すること、地域の中で人がつながり支えあう社会と学校を創造すること等、様々な観点から検討を進め、今年度末には、実情に応じて選択し得るスクールモデルを指針として提示したいと考えております。



との横の連携、小中一貫等の縦の接続の視点からの検討が必要」等の意見も出されています。

# 特集

## 「信州教育の信頼回復に向けた行動計画」について 教育総務課

### 教

職員の不祥事が相次いだことから、県では昨年7月に外部有識者で構成する「教員の資質向上・教育制度あり方検討会議」を設置し、今年3月19日に不祥事再発防止策や、教員の採用・人事、評価、研修など対応すべき方策について提言をいただきました。県教育委員会では、一日も早く県民の皆様の教育に対する信頼を回復するため、提言に基づく具体的な取組内容や工程などをまとめた「信州教育の信頼回復に向けた行動計画」をこのたび策定しました。

### 計

画には、教育委員会・学校のコンプライアンス体制の構築など不祥事再発防止のための様々な取組をはじめ、不祥事発生後の適切な対応のための取組や教育現場の教職員をサポートするための取組など、全部で46項目を掲げています。この中には、懲戒処分を受けた教職員に対する研修など、既に実施し始めたものもありますが、多くは、今、まさに取組を進めているところであり、児童生徒の学びや成長にとって、どのような取組が必要なのかという視点を最優先（Student First）にして、取組を進めてまいります。

### 残

念ながら、今年度に入ってから教職員による重大な不祥事が発生していません。こうした不祥事をなくし、信州教育の信頼を早期に回復できるよう、計画を迅速かつ着実に実施してまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

◆信州教育の信頼回復に向けた行動計画についてはこちら  
↑

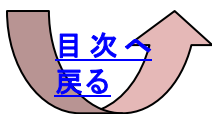
<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyouiku/kyousoumu/kodokeikaku/kodokeikaku.htm>

### こ

うした取組を効果的に進めていくためには、県教育委員会だけでなく、市町村教育委員会や学校、教員など信州教育に係わる者すべてがこの計画を自らのこととして捉え、主体的に実施していくことが必要です。関係者との意見交換や研修など、様々な機会を通じて周知していきます。

### 計

画の取組状況については、先に設置した外部有識者6人で構成する「教員の資質向上・教育制度改善フォローアップ委員会」に定期的に報告し、検証すること



#### ■お問い合わせ

教育総務課 総務係  
TEL : 026-235-7421  
FAX : 026-235-7487  
e-mail:  
kyoiku@pref.nagano.lg.jp

# 今、学校では

## 木曾馬とのかかわりを活かした学習

### 木曾養護学校

#### ○馬の学習のはじまり

「馬の学習」とは木曾馬との関わりを活かした学習です。地域の素材を学習に活かす基本方針から全校遠足をきっかけに学習が発展し、特色ある教育活動として教育課程に位置づきました。

馬の学習の中でも年間を通して開田高原にある「木曾馬の里」に出かけて行う学習が「定期的な馬の学習」です。保護者と児童生徒、担任の希望から参加者を決定し、前期11回、後期11回の計22回実施しています。

#### ○「定期的な馬の学習」

「馬」が好きな子どもたちは「馬」の存在自体に大変魅力があり、学習に対してとても意欲的、積極的になります。馬に乗りたいという思いから自分で帽子を取りに行きます。順番を待てるようになります。自分から馬に近づき、触り、見つめます。初めての活動にも挑戦していきます。



また、「馬の学習」は馬に乗ること以外にも様々な活動の機会や要素を与えてくれます。例えば、乗馬では体へのアプローチとともに馬に体を預け、体温を感じ、心理的な安定につながる要素があります。その他にも厩務作業やえさやり、馬や指導員さんとのやりとり（コミュニケーション）などがあります。



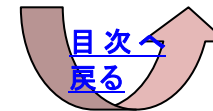
#### ○馬の学習の意味

このように「馬の学習」は、「馬」の存在が子どもたちの主体的な行動を引き出し、意欲を支え、一人ひとりの自立活動のねらいに沿って自立活動の要素を相互に関連づけて様々な活動ができることから、子どもたちの心身の調和的発達の基盤を培う上で大きな意味があると言えます。

今後も木曾馬とのかかわりを活かした学習について、指導員さんや外部専門家と連携しながら研究を進めていきたいと考えています。10月19日（土）の学校祭（駒の子祭）では、

木曾馬が学校にやってきて、乗馬体験ができます。木曾馬とふれあえるチャンスです。多くの皆さんのご来校お待ちしております。

■お問い合わせ  
木曾養護学校  
TEL : 0264-22-3553  
FAX : 0264-21-1039  
e-mail  
kisoyo-sc@pref.nagano.lg.jp



## 市町村教育委員会のお仕事探訪 〜朝日村教育委員会にうかがいました〜

今回の現場レポートは、市町村教育委員会のお仕事に焦点を当て、**朝日村の教育委員会事務局**を訪ね取材しました。

東筑摩郡の朝日村は長野県のほぼ中央に位置し、松本市や塩尻市と接しています。鉢盛山を背にしたなだらかな台地に住宅地や耕地が広がり、生活の便利さと自然の豊かさをあわせもつ地域です。

朝日村教育委員会の事務局がある中央公民館で、課長補佐の上條靖尚さんにお話を伺いました。

**レポーター** 最初に、朝日村教育委員会の職員体制などを教えてください。

**上條さん** 教育委員会の業務は大きく分けて、「学校教育」、「社会教育」、「子育て支援」、「保育園」の4つがあり、16名ほどの職員がいます。嘱託や臨時職員を含めるともっと多くなりますが、保育園などは別の場所にありますので、「こ」の事務室では6名が働いています。

**レポーター** 「保育園」も、教育委員会で担当されているんですね。

**上條さん** はい。最近では県内でも、教育委員会が保育を担当しているところが増えていま



### ○事務所の様子

中央公民館の一角に、教育委員会事務局があります。

すね。また特に朝日村では、平成27年4月に現在2つある保育園の統合を予定していますので、今年は新しい保育園の建設が大きな仕事のひとつになっています。

**レポーター** 村内に小学校が1校と、組合立の中学校がありますね。

**上條さん** 朝日小学校は全校児童数が250名ほどです。また、鉢盛中学校は、松本市と山形村、朝日村の3市村による組合立の中学校です。

**レポーター** 組合立の中学校は、県内でもそれほど多くはありませんが。

**上條さん** 鉢盛中学校は昭和40年に設置され、県内でも歴史が古いんです。もちろん村立の中学校もいいと思いますが、子どもたちにとっては中学校で友だちが増えますし、いいことだと思っています。

**レポーター** 小学校では、朝日村ならではの取組はありますか。

**上條さん** 校舎に村産のカラマツをふんだんに使っています。昇降口の下駄箱や、児童の机や椅子もスチール製ではなく、村内の芸家の皆さんに協力いただいて全てカラマツで作ったんです。実は夏休み期間中に、教室のロッカーをカラマツ製のものに入れ替えています。休み明けに登校してきた児童はびっくりするんじゃないでしょうか。

また、小学校では「ふるさと道場」として、授業の中で地元の人子どもたちに、スポーツや文化活動を教える時間を設けています。時には学校の先生から、「地域にこういうことのできる人はいないか」と聞かれることがあるので、教育委員会で適任者を探して紹介したりもします。日頃から学校と教育委員会では、連携・協力していますよ。



○小学校教室

机や椅子もカラマツ製で、子どもたちが運びやすいように軽くする工夫がされています。

レポーター 教育委員会では、公民館の事業も大きなウエイトを占めますよね。

上條さん 公民館では、様々なイベントや文化系・スポーツ系の講座を開催しています。先週の土曜日には村の夏の一大イベントとなる「お夏まつり」を開催し、たくさんの方に参加いただきました。また今年、県の「公民館等による地域課題講座開催支援事業」を活用して、地域による子育て支援にも取り組んでいます。

レポーター 社会教育や社会体育の仕事で大変なことは何ですか。

上條さん 夕方から夜に開かれる講座もありますし、また公民館報の編集会議が深夜に及ぶこともあります。参加されている住民の皆さんはもちろんですが、担当する職員も、仕事の時間がどうしても長くなりますから大変なこともあります。

その一方で、社会教育の担当者は、住民の希望を聞いたり又は自分のアイデアを生かして、新しい講座の企画を考えたりできますから、やり甲斐はありますね。

レポーター これまで思っていたよりも、教育委員会はいろいろな仕事をしていることが分かりました。



○公民館

公民館に置かれているテーブルやベンチも村のカラマツで作られています。

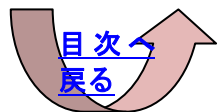
上條さん 朝日村教育委員会では、学校や公民館だけではなく、美術館や図書館、グラウンドなどたくさんの方の施設を管理しています。限られた人員でこれらの施設を維持していくのはなかなか大変ですが、利用される皆さんのためにもいい状態を保つよう努力しています。

レポーター 今日はありがとうございました。

お話を伺った後、上條さんに学校などの施設を案内していただきました。その際、子育て支援センター「わくわく館」では、夏休み中ということもあってたくさん子どもたちが利用しており、上條さんが声をかけると、子どもたちが駆け寄ってきてあいさつしていました。その姿を拝見して、朝日村では、子どもたちのふれあいが大事にされていると感じました。

※この記事の内容は、取材をもとに再構成したものです。

(文責:教育総務課企画係 小澤利彦)



■お問い合わせ  
教育総務課 企画係  
TEL : 026-235-7423  
FAX : 026-235-7487  
e-mail:kyoiku-kikaku@  
pref.nagano.lg.jp

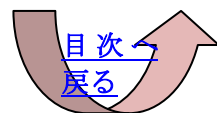
# イベント情報・お知らせ

## イベント・募集

9月から10月までに開催する研修講座のご案内をいたします。詳細については、当センターのHPをご覧ください。皆様の参加をお待ちしております。

生涯学習推進センターのホームページは <http://www.nagano-c.ed.jp/shogai/> です。

タイトル	日時	実習・講座	講師
◆セミナー 「生きる力」	9月21日(土) 9:40~12:00	講義:「いただいた『いのち』、今ここをいかに生きるか」	講師 青山 俊重 無量寺東堂
◆家庭・幼児教育講座 「子育てと子どもの未来」	9月27日(金) 9:40~16:00	講義:「子どもにつけるべき力と大人の役割」 事例発表・情報交換	講師 門脇 厚司 筑波大学名誉教授 茨城県美浦村教育長
◆セミナー 移動講座「バリアを越えて、みんなが1つの『私たち』に」	10月5日(土) 13:00~16:30 会場:駒ヶ根市アルパ多目的ホール	講義Ⅰ:「障害者と『健常者』」 講義Ⅱ:女性と男性	講師(講義Ⅰ) 堀越 善晴 明治大学・立教大学兼任講師 講師(講義Ⅱ) 堀越 倫世 関東税理士会長野県支部連合会副会長
◆家庭・幼児教育講座 「子どもがよろこぶ、楽しい運動遊び」	10月24日(木) 9:40~16:00	講義:「スポーツにつながる、楽しい運動遊び」 演習:「子どもがよろこぶ、楽しい運動遊び」	講師 渡辺 敏明 信州大学教育学部准教授
※ 受講は無料です ※ 会場の記載がない講座は、当センターにおいて開催します。			



■お問い合わせ  
長野県生涯学習推進センター  
〒399-0711  
長野県塩尻市片丘南唐沢 6342-4  
TEL : 0263-53-8822  
FAX : 0263-53-8825  
e-mail : shogaigakushu@pref.nagano.lg.jp



## ◆SWANプロジェクト5期生の募集

◎SWANプロジェクトは、未来の冬季オリンピックのメダリストを見出し、育成を行う事業です。世界で活躍する選手となる夢を持った皆さんの挑戦をお待ちしております。詳細は下記のHPをご覧ください。

募集期間：8月20日(火)～9月20日(金)

1次選考会：10月26日(土)

会場：ホワイトリング

2次選考会：11月16日(土)

会場：ホワイトリング

※ホームページ [http://www.nagano.sports.or.jp/associat/swan\\_project.html#bosyuu](http://www.nagano.sports.or.jp/associat/swan_project.html#bosyuu)

## ◆2013県民スポーツフェスティバル参加者の募集

～スポーツで広げよう 人の輪 豊かな人生～

募集期間：7月5日(金)～9月2日(月)

※べ切が近づいてきました。大勢の方のご参加をお待ちしております。

※詳細は下記のHPをご覧ください。

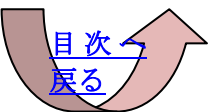
日時：10月20日(日)

会場：松本平広域公園等

※ホームページ

◇ <http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/taiku/kenfes/kenspo.htm> (8月29日まで)

◇ <http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/sports-ka/sport/taikai/festival.html> (8月30日から)



### ■お問い合わせ

長野県教育委員会事務局スポーツ課  
〒380-8570

長野県長野市大字南長野字幅下 692-2

TEL : 026-235-7447

FAX : 026-235-7476

e-mail : [sports-ka@pref.nagano.lg.jp](mailto:sports-ka@pref.nagano.lg.jp)

◆“信州”山の自然楽講座

「信仰の山「御獄」の成り立ちと歴史」(30名)

期日.. 9月4日(水) ~ 5日(木)

会場.. 御獄

「信州ならではの高原植生の現状」(30名)

期日.. 10月31日(木)

会場.. 志賀高原

◆わくわくチャレンジ教室

「湯俣で足湯に入ろう」(20名)

期日.. 10月12日(土)

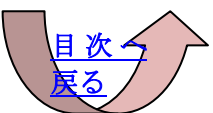
会場.. 高瀬川 湯俣

「もっと高くクライミング!」

期日.. 10月13日(日)

会場.. 山岳総合センター人工岩場

※ 山岳総合センターのホームページは <http://www.sangakusogocenter.com/index.html> です。  
詳細については、当センターのHPをご覧ください。



■お問い合わせ

長野県山岳総合センター

〒398-0002

長野県大町市大町 8056-1

TEL : 0261-22-2773

FAX : 0261-22-5444

e-mail : [info@sangakusogocenter.com](mailto:info@sangakusogocenter.com)

## あしがき

メールマガジン9月号をお送りします。

まだまだ暑い日が続いています。

残暑お見舞い申し上げます。

日本国内で、気温が40度を超えたという話もチラホラ……  
めまいがしそうです。

そんな中、お盆に実家に帰省しました。

すると、家の軒下に金属製のトタン板が広げられていたので、  
何のためか聞いてみると、今年初めて“干し野菜”に挑戦して  
いるとのこと。

家庭菜園のナス、豆類、夕顔などが干され、すこぶる順調に  
乾いているようですが、夕顔の一部は、灼熱の太陽の光で焦げ  
たとか……。

今年の猛暑を実感しました。(か)

◆平成26年度公立学校教員採用選考 一次選考合格者を掲載しました  
◆新しい信州ブランド戦略の「キャッチフレーズ&ロゴマーク」と「スローガン」  
を「活用ください」。

